

# 「平成20年岩手・宮城内陸地震」土木関係被害対応状況

「平成20年岩手・宮城内陸地震に係る国道342号災害復旧技術検討委員会」  
復旧計画案を策定  
(第1回:7/3、第2回:7/18、第3回:7/29)



**復旧計画案**  
●現道ルートを基本  
●1.5車線の整備

《1.5車線の整備》

●2車線改良、1車線改良並びに突角剪除及び待避所を合わせた道路整備

**復旧計画案**  
●北側架橋ルート  
●市道鬼頭明通線を一部利用

**仮橋の設置**

●現橋と新橋の間に仮橋を設置  
⇒ 真湯への交通を確保

④ 国道342号 須川温泉～真湯温泉 被害箇所多数

① 国道342号 祭時大橋 落橋

「国道342号祭時大橋被災状況調査検討委員会」  
祭時大橋の被災メカニズムの解明等  
(第1回:7/25)



祭時大橋の被災メカニズムの解明

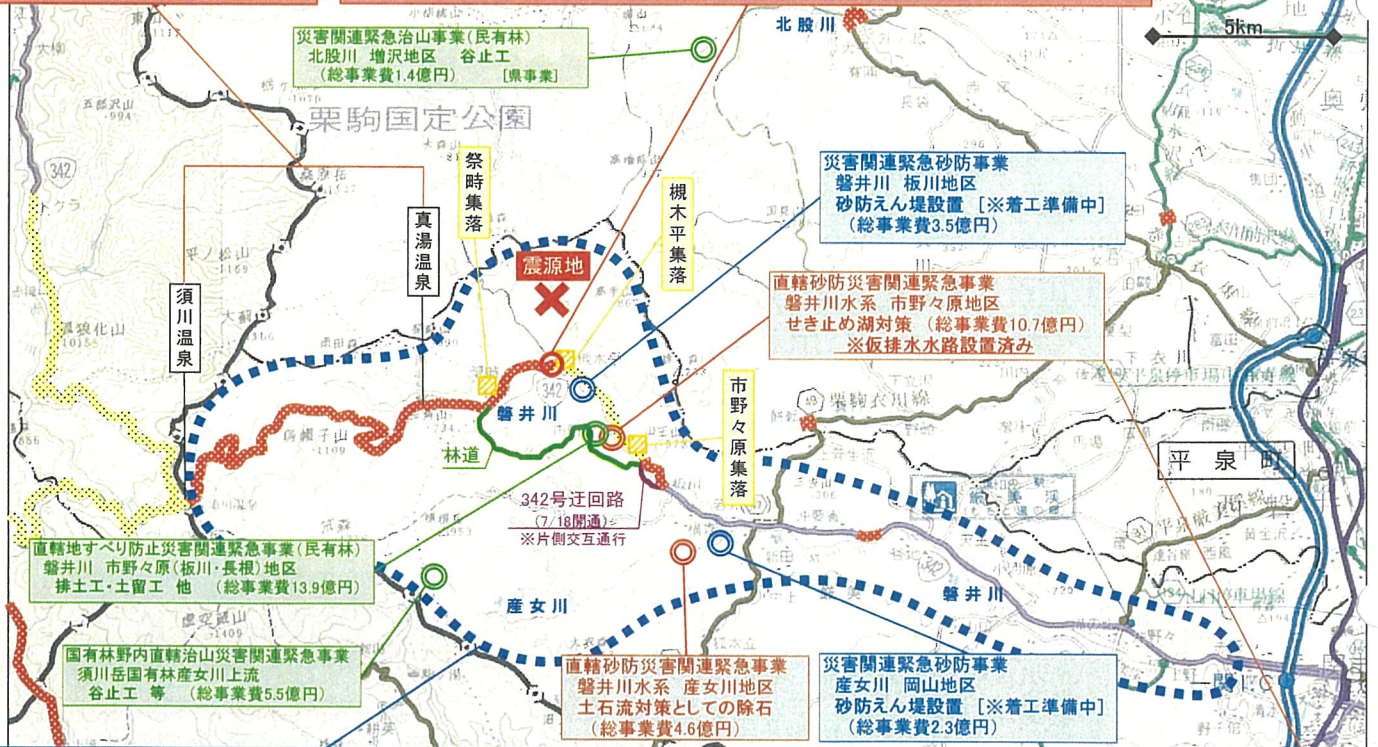
復旧に当たっての技術的配慮事項を抽出

被災橋梁の復旧設計に反映



**凡例**

- 直轄砂防災害関連緊急事業
- 災害関連緊急砂防事業(県)
- 治山関係事業(国・県)
- 全面通行止区間
- 片側交互通行区間



多数の斜面崩壊、不安定土砂の河道堆積、地すべり等

「平成20年岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会」  
緊急対策と恒久的な土砂災害対策について基本的な計画を策定  
(第1回:6/28、第2回:7/29、第3回:9月上旬)



産女川上流(土砂崩落、河道閉塞)



磐井川 徹美町須川(土砂崩落、河道閉塞)

土砂災害対策に関する検討

- 基本方針の検討
- 施設配置計画に関する検討
- 警戒避難に関する検討

土砂移動現象の予測に関する検討

- 数値シミュレーションの実施
- 土砂移動現象と被害範囲の予測
- 計画施設の効果の検討

河道閉塞箇所のソフト対策

国、県、市が安全対策基準を設定し、地域住民への迅速な情報伝達や緊急避難の発令に取り組んでいる。

＜安全対策基準設定河川＞

- 国・県設定：磐井川流域  
→ 磐井川、産女川
- 奥州市設定：衣川流域  
→ 北股川上流

※ 安全対策基準  
・降雨量等に応じてレベル1～3を設定



直轄砂防災害関連緊急事業「せき止め湖対策」(6/21:第1断面通水、7/5:第2断面通水)

